

環境と健康



にぎわう作品展示会場(上)と、地元で開催された表彰式(下)

委員で構成する選考委員会で、厳正な選考が行われました。

今年度は、12月1日に広島市の広島国際会議場「フェニックスホール」で開催する第58回広島県公衆衛生大会の席上で、受賞者の表彰式および受賞作品の紹介を行います。会場では、今年10年目を迎えたポスター・標語コンクールを記念し、今年の受賞作品を含めた過去10年間の全受賞作品の展示を行います。また、県内の各地域を巡回する10周年記念巡回展示会を実施中です。ぜひお近くの会場に足を運び、優秀な作品をご覧ください。

平成29年度環境と健康のポスター・標語コンクール

10周年を迎え「健康」分野スタート

小中学生から3万4千点の応募

平成20年に「環境啓発ポスター・標語コンクール」としてスタートした「環境と健康のポスター・標語コンクール」は、今年10年目を迎えました。今年度は、従来からの「環境」分野に、新たに「健康」分野を加えて募集を行い、23の公衛協に約3万4千点の作品が集まりました。各公衛協で選考され、648点の作品が当協会に推薦されました。

当協会では、これらの作品から特に優秀な作品を表彰してコンクール参加者を含む県民の環境や健康に対する意識の向上に取り組んでいます。選考にあたっては、教育や芸術、文化の専門家だけでなく、環境や健康、市民活動の視点をもつ8人の

このコンクールで集められた優秀な作品は、例年、公衛協が地元で開催する展示会や広報、公衛協だよりで紹介されるほか、クリアファイルやボールペンに作品を印刷した啓発グッズとして、公衛協が展開する広報事業や啓発活動の中で活用されています。当協会ではコンクールを活性化するため、これらの活動を支援する経費助成を行っており、今年度は22の公衛協に助成を行います。

環保協60周年記念式典を開催

土井宇宙飛行士が講演

当協会は、平成29

年12月4日に創立

60周年を迎えます。

今年度は、さまざまな

関係の方々への感謝

を込めて各種の記念

事業を実施しています。

そのメインである

記念式典を平成29

年12月1日(金)に広

島国際会議場フェニックスホール

(広島市中区中島町1-5)で開催し

ます。今回は、創立当初から実施

している広島県公衆衛生大会と同

時開催とし、式典並びに大会を大い

に盛り上げていきます。

当日は、午前中に1万人のエコ

チェック事業の結果を発表し、午後

から第58回広島県公衆衛生大会並

びに60周年記念式典を行います。

詳細は、6面をご参照ください。

今回の記念講演には、宇宙飛行士



の土井隆雄先生をお

迎え、『宇宙と地

球環境』と題してお話

いただきます。先生

は、1987年に日本人

で初めてスペースシャ

トルでの船外活動を行

い、また2008年には

日本が開発した有人

宇宙施設「きぼう」

に乗り込んだ初の日本人となりました。

一方で、天文家として超新星を

発見されるなど、さまざまな活動を

続けられています。現在は、京都大

学特定教授に就任され、新しい宇宙

総合学の探求と人材育成に力を入

れられています。講演では、今の地

球環境についてお話いただきます。

この講演は、一般の参加も受け付

けていますので、聴講をご希望の方

は、当協会までお問い合わせくださ

い。(電話082-293-1511)

今年60周年を迎える公衛協、この大切な節目に、優秀な前議長、庄原市会長の後を受け、理事と代表者会議の議長の大役を受け継ぐことになりました。責任の重さを実感するとともに身の引き締まる思いです。どうか皆さまの温かいご指導ご協力を強くお願いいたします。▼さて、今年もあちこちで大雨による大災害が発生しました。私事、公衛協に入ってから10数年を思い起こしても、気象変動は年を追うごとに変化し、地球温暖化・海や空の変化は目を見張るものがあります。子どもの頃のぼつかり浮かんだ白い雲、毎日が日本晴れの青い空の記憶が、今は薄暗い雲にぼやけた青空。海は透明度を保ちながらも廃プラスチックごみに悩まされ、また海水温の上昇に、生態系に影響が出ています。この厳しい環境を生み出したのも、みんな人間の業であります。▼これを自分たちの力で解決するため、日頃から公衛協の皆

さんには精一杯の努力をされていると思います。心から感謝申し上げます。一方で「コミュニティの活性化も十分とは言えず、地域活動の協力関係の希薄化、奉仕の精神の薄れも懸念されます。特に最近のはミサイル問題やパリ協定に否定的な大統領の発言などもあり、人々が世界の動向に右往左往し、自分たちの足元を見るゆとりが失われているように思います。▼このように難しい状況ではありますが、私たち公衛協がやらなければ、誰も後につく者もありません。また、私たち公衛協は住民の皆さんの協力がなくては前に進めません。▼大自然の摂理を守るためには、私たち自身が二つの目標に向かい和し、環境と健康を守る輪の実践を強力に広げていかなければなりません。哲学者カントの言葉に「人の人たる所以は人と人との結合にあり」とあります。公衛協の皆さんの力の結集と活躍を切に願います。

(地区衛生組織代表者会議議長 今津俊昭)

さんせんか 琴線歌

人と人の力を結集して前進

おかげさまで60年



住みよい未来をこれから



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

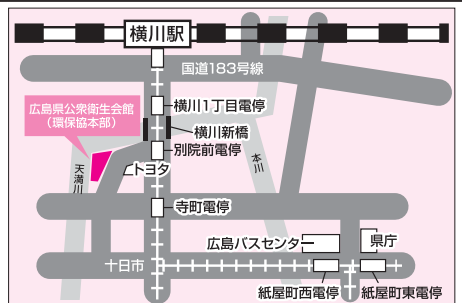
かんぽきょう

検索

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。



平成29年度

環境協・公衛協共同事業

環境と健康のポスター・標語コンクール

最優秀賞作品紹介

(順不同・敬称略)

環境分野



●最優秀賞 呉市
広小学校 1年 田邊 美月

健康分野

けんこうは
よくたべよくねて
よくわらうこと

●最優秀賞 大竹市
大竹小学校 1年
藤井 結仁

環境分野

ぼくのふく
おとうときたら
3だime。

●最優秀賞 福山市
道上小学校 2年
坂本 琉偉

標語【小学校低学年の部】

標語【小学校高学年の部】

標語【中学校の部】



●最優秀賞 坂町
坂小学校 5年 田下 葵



●最優秀賞 三次市
三次中学校 2年 高田 さくら

YOUTUBE
見すぎてねぶそく
注意しよう

●最優秀賞 三次市
八次小学校 6年
池本 傑

これ以上
便利にしないで
いいんじゃない?

●最優秀賞 廿日市市吉和
吉和小学校 6年
栗田 和誠

朝食は
自分を創る
スタートだ

●最優秀賞 呉市
和庄中学校 2年
横藤田 董

スイッチOFFで
窓OPEN
一工夫で
未来を明るく

●最優秀賞 尾道市
日比崎中学校 2年
藤井 伽璃

10月13日、「平成29年度環境と健康のポスター・標語コンクール」が公衆衛生会館で開催され、648点の推薦作品から、今年度の入選作品95点(ポスター46点、標語49点)が選定されました(作品は2面3面参照)。

今年度は、これまで実施してきた「私たちがすむ地球を守るう」をテーマとした環境分野に加え、新たに「みんなでがんばる健康生活」をテーマとした健康分野を追加。小学校227校、中学校60校の参加があり、3万4千458点(ポスター1万4千370点、標語2万880点)の作品が公衛協に集まりました。

これら約3万4千点の作品は、各公衛協で選考され、ポスター301点、標語347点、合計648点が当協会に推薦されました。

推薦作品648点から95点が入選
ポスター46点・標語49点を選定される

平成29年度環境と健康のポスター・標語コンクール

応募数内訳および推薦数、入選数

部門	応募数			推薦数	入選数
	環境	健康	合計		
ポスター	13,770	600	14,370	301	46
標語	17,966	2,122	20,088	347	49
合計	31,736	2,722	34,458	648	95



選考委員のコメント

選考委員会では、8人の選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行い、公衛協の推薦作品648点から95点の受賞作品を選出しました。推薦作品には、子どもたちの純粋な気持ちや思いが表現された感性豊かな作品が多くみられました。選考委員のコメントは次のとおりです。



◆内田委員長(ポスター)広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育講座教授

今回より新たに健康分野が加わり、これまでの環境分野と共に、今までにない多様で新鮮な作品が多く見られました。しかし一方で、ポスターにおいては、優れた作品ながらキャッチコピーの文字の間違いで残念な結果になった作品も多くあり、今一度出品時での確認の必要性を強く感じました。

◆森嶋委員(標語)広島修道大学名誉教授

今年も子どもたちの豊かな感性を生かし、思いをそのまま伝える純粋な言葉で表現された多くの作品に出会いました。日々繰り返される何気ない生活の一場面を、大人が持たな

い新鮮な言葉で表現した作品が多く見られました。自分を取り巻く自然を思う優しさにあふれた心や、家族の健康を願う心を、いつまでも持ち続けて成長してほしいと思っています。

◆務中委員(標語)広島大学名誉教授

感性豊かな表現で取り組んでいたことに感心しました。特に中学校の部では、未来を見据えた活動のあり方を、新しいキーワードで表現したものが多く見られ、昨年より一歩前進したように感じました。

社会人たちは、この純粋な言葉に耳を傾けなければなりません。また、指導された先生方や保護者に敬意を表します。

◆田原委員(標語)中国新聞論説委員

小中学生が考えられる標語は、まだまだ新鮮な視点や響きがいていて驚きました。身の回りや地域の自然、そして地球に、子どもならではの目を向けて、疑問や心配を表現してくれています。

素直な心で問い掛ける標語は、説教くさくならず、すっと心に入りまします。頭の固い大人をドキッとさせ、反省させるものも。そのうえリズムが良く、面白い。ぜひ声に出して読んでみて下さい。



8月27日(日)、安芸高田市八千代町の土師のどごえ公園周辺で「土師ダム清掃ボランティア活動」が実施され、35人が参加しました。今回は、当協会の職員やその家族が15人参加し、安芸高田市公衛協八千代支部の推進委員と共に清掃活動に汗を流しました。

花火大会後の清掃活動 マナー向上でごみは削減傾向

「今年で14回目を迎える花火大会は、開始当初はごみが多く、清掃活動も大変でした。しかし、参加者のマナーが向上し、出店者のごみを持ち帰るなど、年々ごみの量は減っています。今年は環境協からお手伝いがあり、大変助かりました。」と、八千代支部公衛協の岡山支部長は笑顔で語られました。

今年度は、当協会60周年の記念事業として、公衛協のさまざまな活動に協会職員を派遣し、応援参加していきます。

〔地域活動支援センター〕

◆高尾委員(標語)公益財団法人広島原爆障害対策協議会 健康科学館館長
YouTube、スマホなど、新しい言葉のある作品には新鮮な驚きを感じました。健康分野では、子どもたちはよく

勉強しているのだなと感心しました。次に作品を作る時には、勉強したことを頭の中に置いて、自分の感じたことを自分の言葉でつむいでみたら、より面白い作品ができるかもしれません。健康と

いう新分野にも果敢に挑戦していただきありがとうございます。松井委員(ポスター) 広島県環境県民局環境政策課課長
年齢が上がるごとに作品の技術は高くなる傾向がありますが、超

越した作品もあり、楽しく選考できました。最近の傾向なども取り入れられており、感性豊かな力作ぞろいのため、選考に苦労しました。このコンクールへの取り組みが、環境や健康について考える契機と

健康分野



●最優秀賞 庄原市
高野小学校 3年 藤元 葵



●最優秀賞 竹原市
竹原中学校 3年 宮本 若奈

ポスター【小学校低学年の部】

ポスター【中学校の部】

なり、具体的行動に展開することを期待しています。

◆福田委員(ポスター) 広島県立美術館 学芸課長



絵とキャッチコピーの組み合わせであるポスターは、絵画とは違うことがあります。「エコバッグ」や「地球」といった言葉や漢字の間違い

のために、惜しくも選外となった作品がありました。健康分野では、環境問題、リサイクル、環境保全など、健康分野では食生活、禁煙、歯磨き、手洗いなど多様な視点を考えることができました。

豊かなポスターに込められた地球環境への優しい思いや健康に対するイメージやメッセージが伝わってきました。全体的にも昨年とは違った新しいテーマもあり、子どもたちの前向きな姿勢に、明るい未来を感じることができました。

全受賞作品の展示のみならず、過去10年分の全受賞作品の展示も行います。子どもたちの力作を、ぜひ見に来てください。

◆西村委員(ポスター) 環境カウンセラー・広島県環境保全アドバイザー
各年齢ならではの視点で描かれていて、色の使い方や文字の書き方、表現方法など、個性

◆今年度の表彰式は、12月1日に広島県広島市の「広島国際会議場フエツクスホール」で開催される第58回広島県公衆衛生大会で行います。表彰式当日には、今年度の



環境協の 環境生活 センター ⑤ 環境調査課

石炭利用等による人為的な水銀排出が、大気や水、生物中の水銀濃度を高めています。水銀は金属水銀、無機水銀、有機水銀に大別され、有機水銀(メチル水銀化合物)は水俣病の原因物質です。消化管から吸収されやすく、食物連鎖により水銀が高濃度に濃縮・蓄積された魚介類を

食べることで、視力障害、聴覚障害、言語障害、運動失調等の中枢神経系の障害を引き起こします。

水銀は大気中の長距離移動性、環境中での循環・残留性、生物体内蓄積性を有する化学物質として世界的に有害性が懸念され、対策の必要性が認識されています。2013年10月に外交会議で、水銀に関する水俣条約(以下「水俣条約」という。))が採択されました。日本も2016年2月に締結し、23番目の締結国になっています。2017年5月18日には締結国数が50カ国に達し、2017年8月16日に水俣条約が発効されました。水俣条約は、先進国と途上



国が協力して、水銀の供給、使用、排出、廃棄等の各段階で総合的な対策を世界的に取り組むことにより、水銀の人為的な排出を削減し、世界規模の水銀汚染の防止を目指すものです。

水俣条約の「環境中を循環する水銀の総量を地球規模で削減する」という趣旨に沿って、2016年9月26日に大気汚染防止法施行規則が一部改正されました。これにより2018年4月1日には、水銀排出施設の届け出や排出基準遵守、水銀濃度の測定等が義務付けられます。水銀大気排出規制の対象施設は、①石炭火力発電所、②産業用石炭燃焼ボイラー、③非鉄金属製造施設、④廃棄物焼却設備、⑤セメントクリンカー製造設備です。

環境協では、水銀大気排出規制の開始に先駆け、2017年度から廃棄物焼却炉等で排ガス中の水銀濃度の測定を行っています。

〔環境調査課〕

広島県省エネ活動促進補助事業採択団体
(平成26～29年度計25件)

団体名	主な事業
竹原市地球温暖化対策地域協議会	緑のカーテンなど
かんきょう会議浮城	省エネリーダー育成
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	環境家計簿
(一社)尾道市公衆衛生推進協議会	環境家計簿など
ひがしひろしま環境家族	省エネ環境学習会
府中町脱温暖化市民協議会	緑のカーテンなど
海田町地球温暖化対策地域協議会	緑のカーテンなど
エコネットひがしひろしま	省エネ人材育成
くれ環境市民の会	くれエコフェスタ
脱温暖化ぬまくまフォーラム	省エネ環境学習会など
TEAM MATEひろしま	環境家計簿
脱温暖化プロジェクトせら	省エネ環境学習会
三次市公衆衛生推進協議会	省エネ環境学習会など
福山北部脱温暖化地域協議会	省エネ環境学習会
脱温暖化福山中央地域協議会	省エネ環境学習会

※その他10団体(まちづくり協議会など)

県内市町及び団体の省エネ活動を支援
公衛協・TEAMが積極的に活用



庄原太陽光発電所(2千529kWh)

広島県の平成24年度の二酸化炭素排出量は、民生(家庭)部門のみが増加しています。そこで広島県では、具体的な施策として、地域ぐるみの省エネ活動を支援するため、県と中国電力グループで運営するメガソーラーの売電収益を原資として、省エネ活動促進補助事業を実施することとしました。最大50万円/年、最長3年間補助)4年目を迎えたこの事業について、各団体のご協力によりそれぞれ成果が形となりつつある一方で、課題も明らかとなりました。

そこで、この事業の現状・課題について県民の皆さまにお伝えします。

趣旨

広島県の省エネ活動促進補助事業の現状・課題について



このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

- 【買い換え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
- 【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
- 【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

【ライフスタイル】(オール電化と新利用)



西城地区で20年近く会長、副会長を続け、この度、市公衛協の会長を引き継ぎました。普段は主に農業をやっています。

自宅のオール電化はお風呂を工夫し、従来の新利用と温水器の両方で給湯できるようにしています。地域特性上、移動は車が中心ですが、燃費のよい軽自動車を使っています。

地元では小学校の児童と一緒に、廃材を使って環境ポスター作品を収める木枠作成に取り組み、15年になります。リーダーが活動を活性化するためには、1つでも継続できる「何か」を見つけることが重要だと考えます。(高原 芳典さん/庄原市公衆衛生推進協議会会長)

公衛協、TEAMで活躍されているみなさんと、環保協の役職員が日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」を紹介します。

【買い換え】(住宅性能評価を受けた高断熱マンションへの住み替え)



大学を退職し、現在は広島市の地球温暖化対策地域協議会の活動、特にうちエコ診断に注力しています。

退職後、住宅性能評価を受けた高断熱マンションへ転居し、光熱費が以前住んでいた住宅の50%減となり、断熱性の重要性を再認識しました。

温暖化対策には仲間がまだまだ足りません。適材適所、得意分野を活かせる仲間づくりのため、公衛協、行政との連携を強化中です。正しい知識で無理なく無駄を省き、みんなでCO2削減に取り組みましょう。

(篠原 道正さん/広島市地球温暖化対策地域協議会会長・広島工業大学名誉教授)

【ライフスタイル】(公共交通機関の利用)



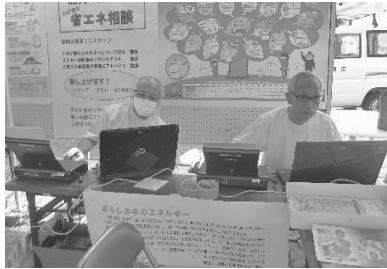
自家用車の利用を控え、移動は公共交通機関を利用、冬場は1枚多めに着て調整できるように心がけています。また、買い物にはマイバッグを持参、不要な照明や冷暖房をこまめに消す、洗濯は残り湯を利用などが習慣になっています。テレビを買換えた時は、画質重視で省エネ性能を特に意識していなかったのが、洗濯機の購入の際はぜひ注目したいと思います。

当協会では、クールチョイスの取り組みが浸透してきました。あなたの職場でも、ぜひ「クールチョイス」を話題にしてみてください。

(中元 啓三さん/一般財団法人広島県環境保健協会常務理事)

主な成果・課題

各団体において着実に補助事業が実施されています。特に平成28年度は、くれ環境市民の会が実施した、「くれエコフェスタ」の参加者が過去最高の6千500人に達して省エネ診断の依頼件数が増加。また、海田町地球温暖化対策地域協議会において、



省エネ診断の依頼も増加



『緑のカーテン』の参加者が過去最高の839人となるなど、大きな成果がありました。地域ぐるみで活動を実践したり、地域の環境課題を解決するためには、地球温暖化防止活動推進員の皆さまをはじめとする地域リーダーを中心に、地域の多様な主体が連携・協

働して取り組むことが必要ですが、両団体の取り組みは、まさに好事例と言えます。一方、各補助団体に共通した課題として、補助事業の着実な取り組みを地域の方々の日常生活における行動変容につなげていく必要があります。

このような課題に対応するためにも、今後は、平成29年度から開始しております「家庭における省エネ行動促進事業」(広島県専用サイトへの登録と実践活動支援、うちエコ診断の受診)との層の連携をお願いいたします。(広島県環境県民局 環境政策課)

広島県省エネ活動促進事業の補助メニュー

- 県内市町および団体が行う地域ぐるみの省エネ活動を支援
- 最大50万円/年(最長3年間)の補助を実施

補助対象経費は下記のとおり。

- ①謝金・賃金・旅費
外部講師の謝金、アルバイトの賃金、外部講師の旅費
- ②事業費(物品・使用料等)
学習会で使用する教材費(LED電球、プリンター等)、構成員・参加者の保険料、会場使用料、機材レンタル料、バスの借り上げ経費等
- ③事務管理費
文房具、コピー用紙等

※詳細は、下記の事前相談窓口にご照会下さい。

広島県省エネ活動促進補助金の事前相談窓口

担当部局:広島県環境県民局環境政策課
環境活動推進グループ

電話: 082-513-2952 FAX: 082-227-4815

E-mail: kankansei@pref.hiroshima.lg.jp

※お問合せは業務時間内(土日祝日を除く8時30分～12時00分または13時00分～17時15分)にお願いします。



『瀬戸内の食文化』は、公益社団法人瀬戸内海環境保全協会のHPからダウンロードすることができます。
<http://www.seto.or.jp/promotion/bunka>

『瀬戸内の食文化』の前半では、海文化全般について解説しました。「瀬戸内海が育んだ海文化」として、海文化の区分を、食文化、伝統行事、石の文化、塩の文化、自然景観と文化景観などとしています。

また、「瀬戸内海の環境と保全活動」では、環境の変化(藻場・干潟の減少、海水温の上昇等)、水環境の保全・創造活動(各地における取り組み事例など)について記載しています。冊子の後半では、食

「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」の取り組みについて ②

様々な視点で瀬戸内海を記録 漁獲量や調理方法も紹介

海文化に取り組み、最初に冊子にまとめたのが『瀬戸内の食文化』です(平成27年7月発行)。今回から3回にわたり、『瀬戸内の食文化』の内容を紹介いたします。

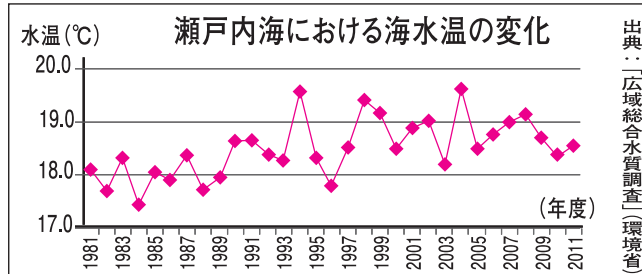
次に「瀬戸内海が担ってきた役割とその価値」として、海上交通、農業、製塩、漁業、工業、食文化、海洋レジャーについて触れています。食文化では「瀬戸内海沿岸部においては、特に人と海の関わりが深かったため、多様な文化が生まれ、育まれ今に残っている。温暖な気候、穏やかで豊かな海からの恩恵や、多種多様な農産物を利用して、他の地域に見られない独特の食文化が発達してきた」としています。

「食文化の変遷」では、現在ではあまり見かけられなくなった食文化、昔から引き継がれている食文化、昔にはなかった食文化の3項目に分類し、整理しています。また、「マダイの例」として、瀬戸内海を代表する魚であるマダイの食文化について整理しています。

広島市の鯛料理として「福山市の鯛の浦では、色々趣向を凝らした鯛料理を楽しむことができます。生き造り、塩焼きはもちろん、鯛めし、鯛素麺、鯛竹輪といったお



広島鯛料理「鯛素麺」



いしさが味わえるのも鯛の浦ならではです。」と紹介しています。

公益社団法人
瀬戸内海環境保全協会

話題の健康づくり

アラカルト

⑦禁煙(電子タバコ)

従来、タバコという紙巻タバコが主流でしたが、電子タバコや加熱式タバコといった「新型タバコ」が登場し、特に最近では「iQOS(アイコス)に変えた」と

は、厳密には加熱式タバコに分類され、タバコの葉を電子熱で加熱して蒸気を発生させ、「コチン」を吸引するものです。今回はまず電子タバコについて説明します。

法によつて「コチン入り」リキッドの販売が禁止されており、安全とされたわけています。しかし、リキッドに含まれる成分が高熱で化学反応を起こし、発がん性のある

新型タバコにご注意を

安全性を疑問視

この声が多く聞かれます。これらは従来の紙巻タバコと何が違うのでしょうか?

電子タバコと加熱式タバコは混同されがちです。プームのiQOS

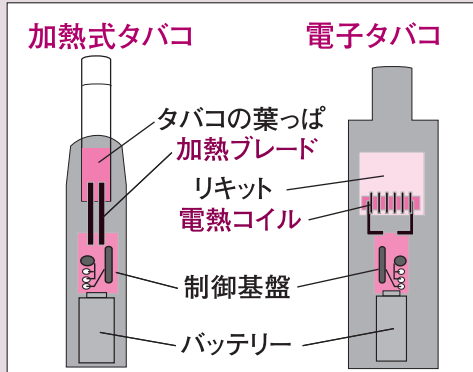
電子タバコはリキッドと呼ばれる液体を、電熱で加熱して水蒸気の形で吸引するというもので、主に香りを楽しむ目的で欧米を中心に普及しています。日本では薬事

ホルムアルデヒドが発生したり、「コチン」が含まないとされる商品から「コチン」が検出された事例が報告されるなど、安全性が疑問視されています。ただの水蒸気な

た、電子タバコに興味を持った理由が「喫煙による悪影響が少なくなることに惹かれた」という方が多いのではないのでしょうか。「有害物質が気になる」「できればやめたい」と思うことは、禁煙へとつながる第一歩です。次のステップとして、禁煙外来や禁煙補

助薬を考えてみませんか。今回は加熱式タバコについての最新情報をお届けします。加熱式タバコを検討していたという方はご一読ください。

(健康増進課 松本玲子)



平成28年10月にスタートした女性限定の人間ドック「かんぽきょうレディースデイ」では、日頃の健康に関する悩みや気になることを少しでも解



感もなく、身体に無害です。

更年期が気になる女性には、主に卵巣で作られる女性ホルモンエストロ

作られるホルモン卵胞刺激ホルモン(FSH)の検査と骨粗しょう症の程度

個別問診でオーダーメイドのドック 女性にお勧めしたいオプション検査

消していただくために、検査前に、看護師や保健師が個別にお話を伺い、オーダーメイドの人間ドックが受診できるように取り組んでいます。今

回は、一人ひとりに適したオプション検査をご紹介します。

子宮頸がんは定期的な検診で発見できる病気ですので、症状がなくても1~2年に一度の受診をお勧めします。

乳がん検査は、40才以上の方にはマン

モグラフィを、40才未満の方には乳腺エコー検査をご案内しています。

甲状腺疾患も女性に多い病気です。疲れやすい、だるいなどの症状がある方には、甲状腺ホルモンの血液検査と甲状腺エコー検査をセットにした「甲状腺検診」をご紹介します。甲状腺エコー検査では喉に超音波機器を当てて測定します。検査時には痛みや圧迫



看護師や保健師が個別にお話を伺う

ご案内しています。医師が問診票の結果も合わせた上で、総合判定および対処法についてのアドバイスをを行います。前回紹介した尿中エコーの検査も、閉経前後の女性にはお勧めしたい検査です。

レディースデイを受けていただいたお客さまから「移動中に女性にしか会わないことに、とても安心感がありました」「女性の職員さんのやさしい口調、丁寧な説明で満足」など評価いただいています。女性スタッフが皆さまの健康づくりをサポートいたします。ぜひご利用ください。

(健康クリニック レディースプロジェクト)

～読者アンケートへのご協力に感謝～

当協会が発行している本紙「環境と健康」を、より見やすく、読み応えのある紙面とするため、平成29年7月号のお届けにあわせて「読者アンケート」を実施しました。読者の皆さまから180通のお声をいただきました。一つひとつのアンケートに目を通し、ニーズの把握、紙面の充実につなげてまいります。アンケート結果は平成30年1月1日発行号で報告します。

アンケートにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

第58回広島県公衆衛生大会

～健やかな暮らしをつくる人々の集い～

開催日時:平成29年12月1日(金)10:30開場 11:00～16:30

開催場所:広島国際会議場フェニックスホール

(広島市中区中島町1番5号 Tel:082-242-7777)

参加対象:公衆衛生推進委員、各市町の環境保健行政関係職員

記念講演は一般参加可能(※要事前申し込み)

平成28年度大会宣言
(庄原市 宮本会長)

- 1万人のエコチェック事業
結果発表・おたのしみ抽選会
- 大会式典(表彰式・大会宣言)
- 環境と健康のポスター・標語コンクール
優秀作品表彰・講評
- 広島県環境保健協会創立60周年記念式典
- 記念講演:「宇宙と地球環境」

家庭向け省エネ情報サイト始めました(広島県)

今年の10月から、広島県の家庭向け省エネ情報サイト「ひろしまエコチャレンジ」を開設しています。

このサイトでは、「省エネにチャレンジ!暮らしをエンジョイ!」をスローガンに、県民の皆様に、エコをより身近に感じて、楽しみながら省エネにチャレンジしていただけるよう情報を発信しています。

メンバー登録して頂くと、取り組み内容に応じたポイントが付与され、ポイントを使って省エネグッズなどのプレゼントに応募することもできます。皆さまのご登録を心よりお待ちしております!

ひろしまエコチャレンジ

検索



当協会では、今年度、創立60周年を記念して様々な取り組みを進めています。その中の一つ「社会貢献事業」を紹介いたします。

従来から実施してい

60周年の感謝を込めて
公衛協事業へ参加や清掃活動を実施

間伐材による漁礁づくり(上段とミヤジマトンボ生息地の清掃活動(中段)、安芸太田町のもみじウォーク(下段))



る協会周辺の清掃活動や自然観察会に加えて、新たな主催事業を実施するとともに、各公衛協の活動に協会職員が参加して、日頃、公衛協と関わりが少ない職員の公衛協活動への理解を深める機会となりました。

里海と里山づくり体験学習会

東広島市の豊かな自然をフィールドに里海と里山の現状と魅力を親子で体験してもらう学習会を企画しました。

7回シリーズの学習会に、親子33組74人が参加し、6月24日の第1回里海教室では食害生物の確認やアサリの放流を実施しました。9月2日の第4回には間伐材による漁礁づくりを行ない、完成した漁礁を安芸津三津湾内の海底に設置しました。今後、来年の5月まで植林や放流したアサリの確認などを予定しています。

ミヤジマトンボ生息地清掃活動
国内で宮島にのみ生息する絶滅危惧種のミヤジマトンボの保全活動として、繁殖場所の清掃活動を8月26日に実施しました。当日は、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会の会長から、生態について詳しく説明を聞いた後、注意事項を守りながら漂着ゴミの回収を行ないました。今回の清掃活動で、ペットボトルなどの捨てられたゴミやカキ養殖に使われる資材など、軽トラで約2台分のごみを集めました。

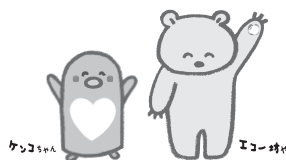
公衛協事業とイベント(11月～1月)

- 11月11日 第21回コ・いフェスティバル・イン・おおたけ(大竹市)
- 11月12日 創立60周年記念式典(尾道市)
第35回おのみち市民健康まつり(尾道市)
アイドリングストップ運動(大崎上島町)
- 11月18日 庄原市リサイクルフェスタ(庄原市)
- 11月19日 みよし環境フェスタ
フェスティバル江田島(江田島市)
- 12月3日 空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン(府中町)
- 12月10日 献血会(府中町)
水辺クリーンウォーキング(府中市)
- 12月14日 御大師八十八カ所巡りウォーキング(大崎上島町)
- 1月10日 アイドリングストップ運動(大崎上島町)
- 1月11日 御大師八十八カ所巡りウォーキング(大崎上島町)

公衛協事業への参加

8月4日には廿日市市宮島公衛協が地域ふれあいフェスタへ参加し、協会職員2人が保冷剤から芳香剤を作る体験コーナーに協力しました。これ以降、安芸

高田市八千代町や熊野町等の清掃活動にも参加しています。今後も、県内で行なわれる公衛協の各種事業に参加するよう計画しているのので、公衛協の皆さまのご協力をお願いします。

平成29年度
地区衛生組織活動資金募集

通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成29年度で58回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

45,333,339



公衛協に配分された募金は、環境づくりや健康づくりの事業に使われます。

健康づくりでは、健康づくり教室を開催したり、ウォーキング事業、がん検診の受診勧奨事業などを行ったりしています。その他、子どもを対象とした食育教室の開催などを行っています。

ふれあいウォーキング
(府中町公衛協)がん検診受診勧奨
(海田町公衛協)

市町別一覧表

※この表は、平成29年9月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,250,200	75.0
海田町	1,979,981	82.5
熊野町	1,442,870	100.6
坂町	370,110	98.9
江田島市	1,829,500	98.7
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	2,345,380	92.5
廿日市市	3,180,816	93.9
廿日市市大野	2,505,050	99.1
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	56,700	107.0
廿日市市宮島	193,100	94.8
安芸太田町	738,500	97.8

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	641,200	58.6
安芸高田市	207,600	9.7
東広島市	4,266,990	95.1
三原市	1,375,840	77.8
世羅町	586,600	64.5
尾道市	4,078,400	91.0
福山市	7,837,794	88.0
府中市	1,061,410	96.8
神石高原町	0	0.0
三次市	1,172,760	47.4
庄原市	641,810	25.5
呉市	7,502,274	96.6
その他	68,454	124.0
合計	45,333,339	78.7